

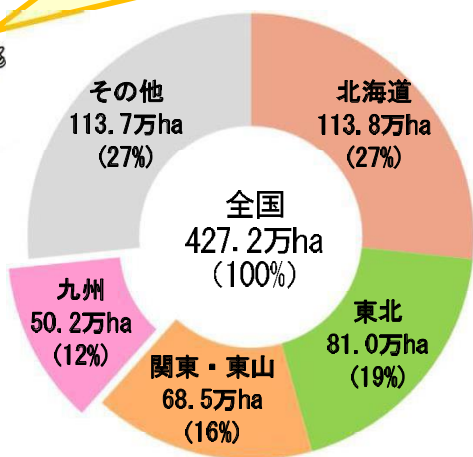


## 九州の農業

# 農地の利用状況

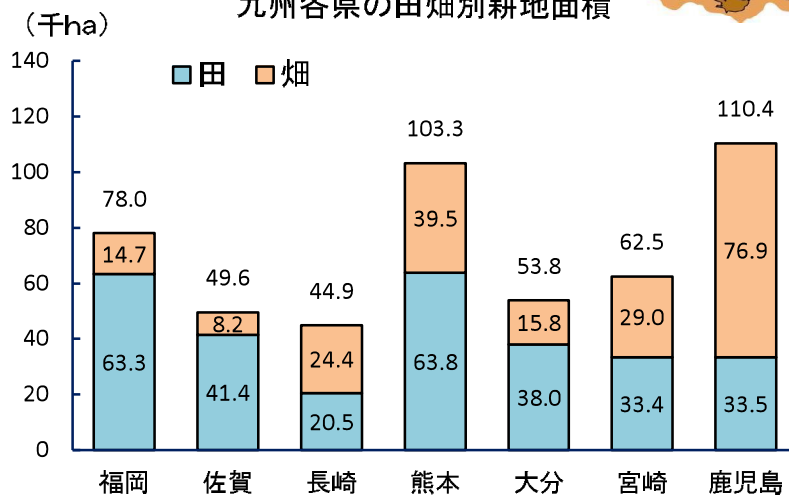
## 全国と九州の耕地面積(令和6年)

九州の耕地面積は約50.2万haで、全国の12%を占めています。



注：「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

## 九州各県の田畑別耕地面積



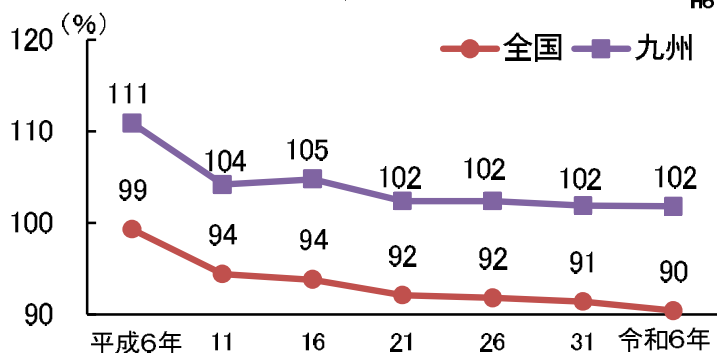
注：四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合があります。

## 耕地利用率の推移

令和6年の九州の耕地利用率は102%で、全国の90%を大きく上回っています。

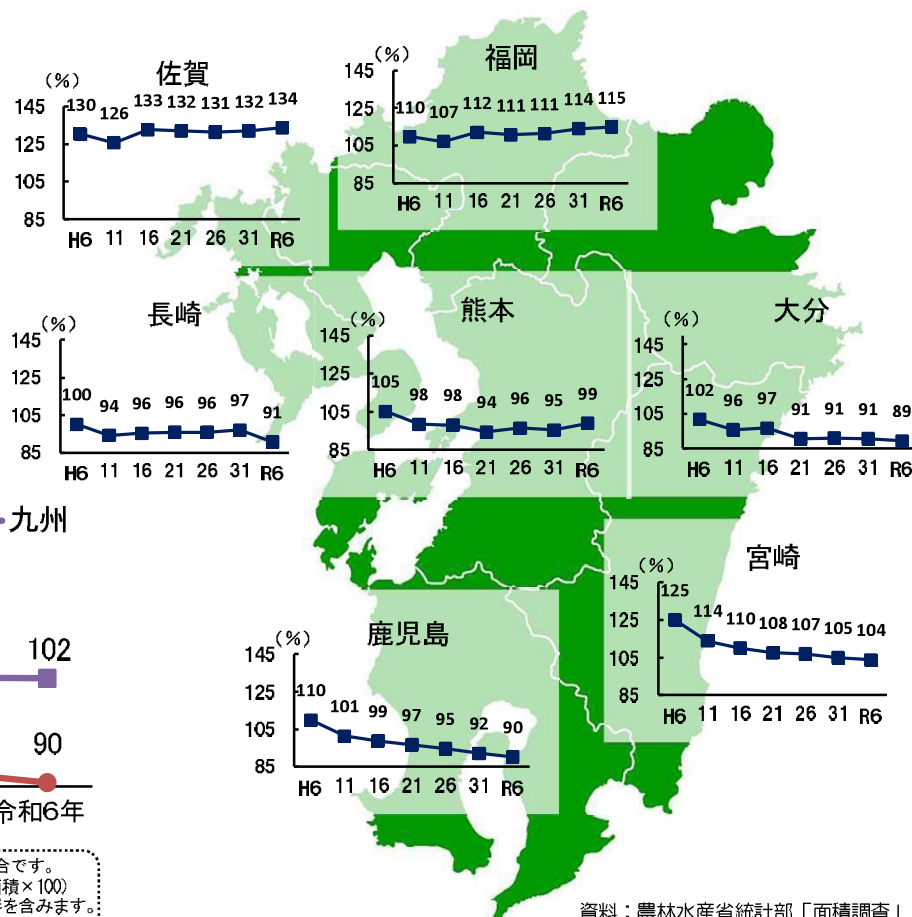
県別にみると、佐賀と福岡が高くなっていますが、これは水稲や大豆の後に麦やたまねぎ等の作付けが多く行われていることが主な要因です。

## 全国と九州の耕地利用率の推移



耕地利用率：耕地面積を「100」とした作付(栽培)延べ面積の割合です。  
 (耕地利用率(%)) = 作付(栽培)延べ面積 ÷ 耕地面積 × 100  
 耕地：農作物の栽培を目的とする土地のことをいい、けい群を含みます。  
 けい群：耕地の一部にあつて主として本地の維持に必要なものです。

## 九州各県の耕地利用率の推移



資料：農林水産省統計部「面積調査」



## 九州の農業

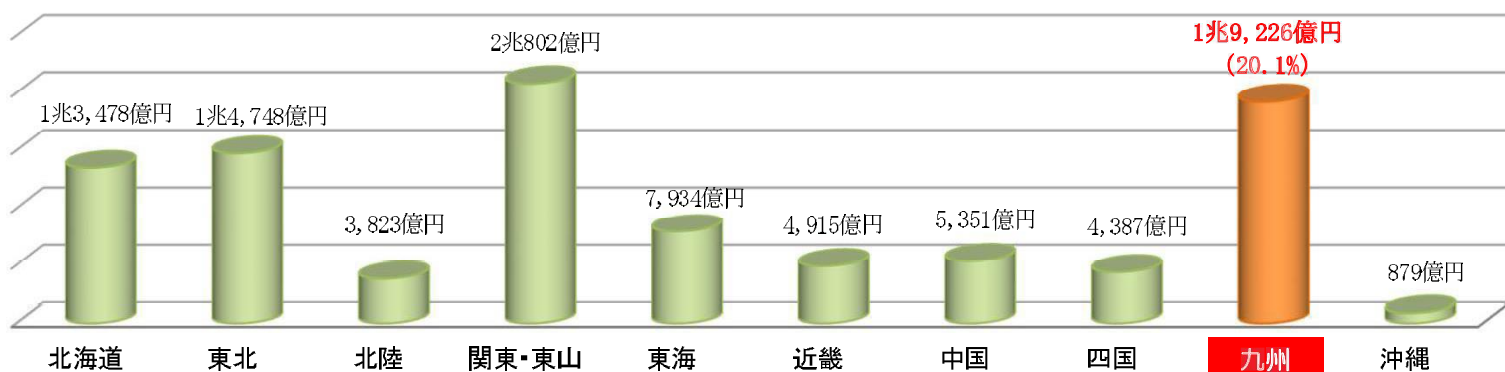
# 農業産出額の特徴

## 地域別の農業産出額(令和5年)

☆全国の農業産出額は・・・9兆5,543億円



令和5年の九州の農業産出額は、1兆9,226億円で全国の約20%を占めており、九州は、関東・東山に次いで大きい地域となっています。

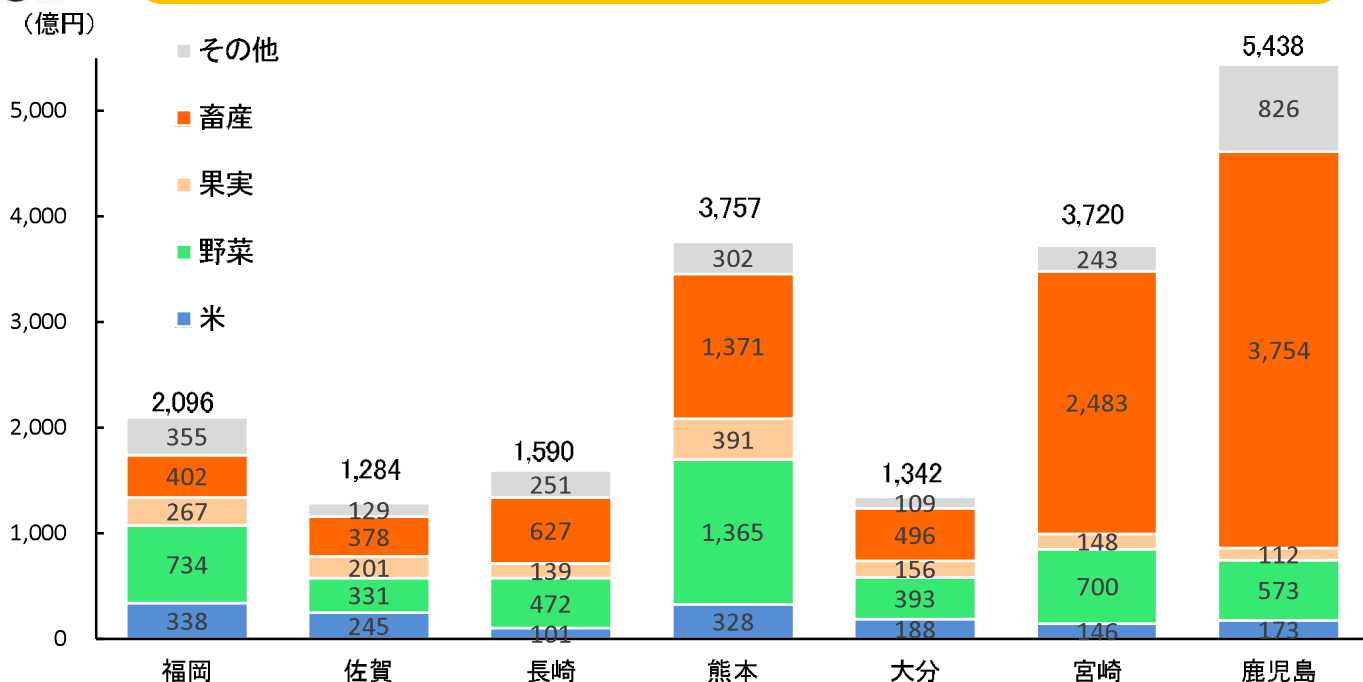


注：1 ( ) は全国に占める九州の割合です。  
2 「関東・東山」には、山梨県と長野県を含みます。

## 九州県別、部門別の農業産出額(令和5年)



九州各県における部門別の農業産出額をみると、畜産が大きな割合を占めており、鹿児島県と宮崎県は6割を超えています。また、施設野菜の生産も盛んなことから、熊本県や福岡県をはじめ、各県の野菜の産出額は大きくなっています。



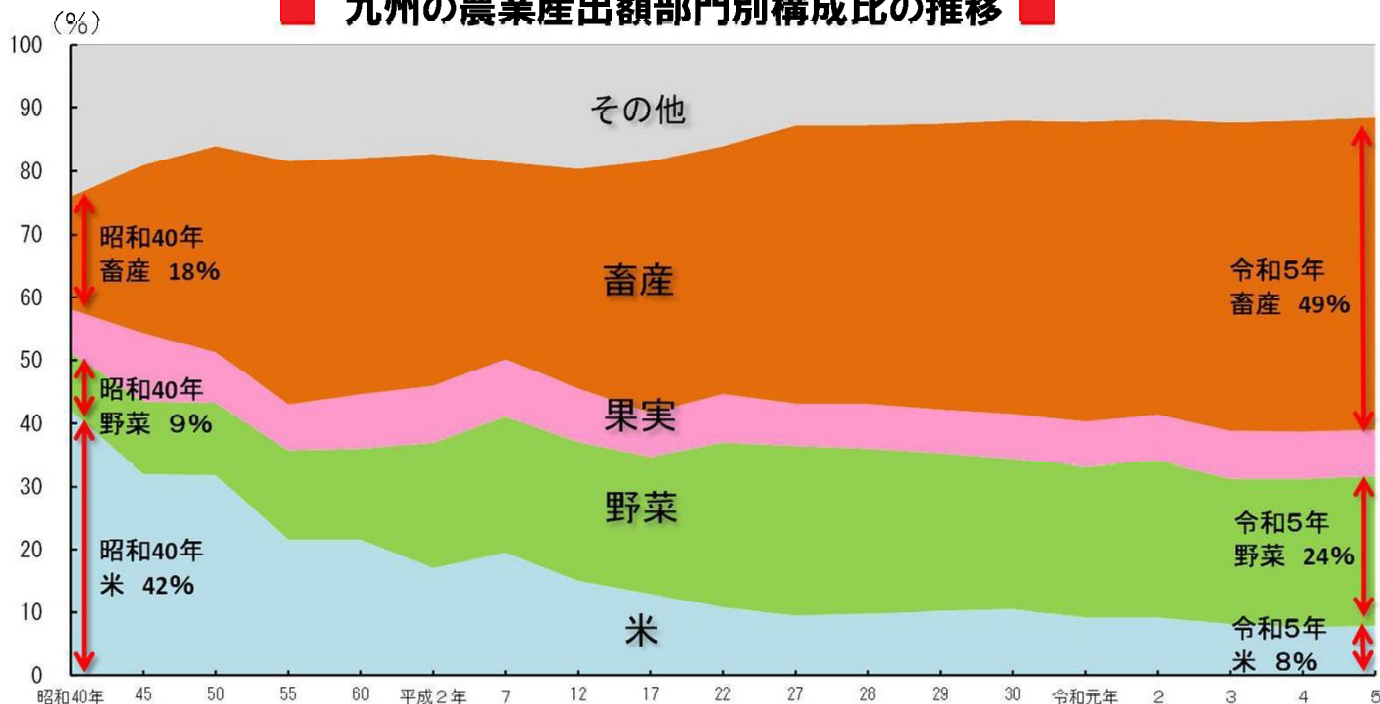
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」



## 九州の農業

# 農業産出額の推移

## 九州の農業産出額部門別構成比の推移



九州の農業産出額を部門別構成比でみると、畜産は昭和40年には18%でしたが、令和5年には49%に、野菜は9%から24%と大幅に増加しました。一方、米は42%から8%と大幅に減少し、米を中心とした農業から野菜、畜産を中心とする農業へ推移しています。

その結果、農業産出額の全国上位10県に、昭和40年は九州は1県も入っていませんでしたが、令和5年は、畜産や野菜の生産が盛んな鹿児島県、熊本県、宮崎県の3県がランクインしています。



## 農業産出額の全国上位10県

単位: 億円

|     | 昭和40 (1965) 年 | 平成12 (2000) 年 | 令和5 (2023) 年 |
|-----|---------------|---------------|--------------|
| 1位  | 北海道 2,033     | 北海道 10,551    | 北海道 13,478   |
| 2位  | 茨城 1,330      | 千葉 4,448      | 鹿児島 5,438    |
| 3位  | 新潟 1,274      | 茨城 4,147      | 茨城 4,536     |
| 4位  | 千葉 1,195      | 鹿児島 4,048     | 千葉 4,029     |
| 5位  | 福島 1,063      | 愛知 3,419      | 熊本 3,757     |
| 6位  | 静岡 983        | 熊本 3,358      | 宮崎 3,720     |
| 7位  | 埼玉 966        | 新潟 3,141      | 青森 3,466     |
| 8位  | 長野 954        | 宮崎 3,128      | 愛知 3,207     |
| 9位  | 愛知 886        | 岩手 2,849      | 岩手 2,975     |
| 10位 | 宮城 886        | 静岡 2,800      | 栃木 2,959     |

資料: 農林水産省統計部「生産農業所得統計」